

葉山町教育委員会第1回臨時会会議録

- 1 開会年月日 令和5年8月1日(火)
- 2 開会場所 保育園・教育総合センター 会議室
- 3 出席委員 教育長 稲垣一郎
教育長職務代理者 小峰みち子
委員 鈴木伸久
委員 下位勇一
委員 清水衣里
- 4 出席職員 教育部長 中川禎久
学校教育課長兼教育研究所長 瀧名恵美子
学校教育課指導主事 松本美穂、沖野遼太郎、塚本徳幸
- 5 議長 教育長 稲垣一郎
- 6 書記 教育部長 中川禎久
- 7 開会 午後1時30分
- 8 閉会 午後3時26分
- 9 次第 日程第1 議案第11号 令和6年度使用小学校教科用図書の採択について

(開会宣言)

教 育 長) ただいまから葉山町教育委員会第1回臨時会を開会いたします。

本会議につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定による定足数に達しておりますので、有効に成立しております。

時刻は13時30分でございます。

本日の臨時会について、傍聴人が16名いることを報告いたします。傍聴人の方は携帯電話の電源をお切りくださいますようお願い申し上げます。

本日の日程といたしましては、次第のとおりです。会議次第についてご異議ございませんか。

委員全員) 異議なし。

教 育 長) ご異議なしと認めます。

なお会議録作成上、質疑の際は挙手をしていただき、委員の名前を指名した後、発言をお願いいたします。また、質疑をされるときは何についての質疑かを明確にお願いを申し上げます。

(議案第11号)

教 育 長) 日程第1、議案第11号「令和6年度使用小学校教科用図書の採択について」を

議題といたします。

議案について、教育部長、説明をお願い申し上げます。

教育部長) 議案第 11 号令和 6 年度使用小学校教科用図書の採択について

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律（昭和 38 年法律第 182 号）
第 13 条第 1 項の規定に基づき、小学校教科用図書を採択する。

(別紙)

令和 5 年 8 月 1 日提出

葉山町教育委員会

教育長 稲垣一郎

提案理由

令和 6 年度使用小学校教科用図書を採択する必要があり、葉山町教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第 2 条第 1 項第 15 号の規定により提案するものです。

なお、本年 7 月 21 日に開催された葉山町教科用図書採択検討委員会において採択された各種目の第 1 候補、第 2 候補の一覧表を参考資料として添付させていただいております。

詳細につきましては学校教育課長から説明をお願いいたします。

学校教育課長) ただいまの議題につきまして、部長よりご説明申し上げます。私からは、本日に至るまでの経緯等につきましてご報告をさせていただきます。

4 月 19 日に開催いたしました定例教育委員会において、葉山町立小・中学校の教科用図書の採択方針及び葉山町教科用図書採択検討委員会の設置及び運営に関する要綱を承認し、これに基づき採択事務を行ってまいりました。令和 6 年度使用小・中学校教科用図書の採択につきましては、令和 5 年 3 月 31 日付文部科学省通知「令和 6 年度使用教科書の採択事務処理について」を受けて採択業務を行うこととなります。

中学校教科用図書の採択については、採択替えがないことから、7 月 19 日に開催した葉山町教育委員会 7 月定例会において、令和 5 年度と同一の教科書を採択しております。小学校教科用図書の採択については、全ての教科書について新たに採択を行うこととなっておりますので、これからご審議を頂きます。

次に、検討の経過ですけれども、5 月 11 日、第 1 回葉山町教科用図書採択検討委員会を開催し、要綱の確認、委員長の選出等を実施いたしました。

6 月 9 日には逗子市、三浦市、葉山町で構成する 2 市 1 町合同研究委員会及び 2 市 1 町合同調査委員会を開催し、資料作成等について説明し、調査を依頼いたしました。その後、各種目ごとに調査を実施し、研究資料を作成していただきま

した。

土・日を除く6月14日から7月3日までの期間、教育委員会学びの広場において教科用図書展示会を開催いたしました。

7月21日、第2回葉山町教科用図書採択検討委員会を開催し、種目ごと調査員からの報告と、本日の採択のために候補資料を作成し、本日に至っております。

説明は以上でございます。

教 育 長) ありがとうございます。ただいま議題に係る説明及び経緯に係る補足説明がありました。ご質問はございますか。

よろしいでしょうか。なしと認めます。

それでは、小学校で使用する教科用図書について、これから審議してまいりたいと思います。進め方は以下のとおりで進めさせていただきます。初めに、事務局から検討委員会の調査結果及び協議結果について説明を受けたいと思います。それを受けて我々委員で意見を出し合い、合議制で決定したいと思います。なお、検討委員会による候補を参考としますが、審議に当たっては原則として全ての教科書会社を対象にしていきたいと思います。

最後に、採択の決定方法につきまして確認します。決定は、出席委員の過半数以上の推薦があることといたします。過半数に達する推薦が出なかった場合には、候補を2社に絞って改めて審議し、決定します。

決定方法についてご異議ございませんか。

委員全員) 異議なし。

教 育 長) よろしいですか。ご異議なしと認めます。

それでは審議に入ります。最初に、種目1「国語」から始めます。なお、意見を述べられる場合には簡潔明瞭にお願いいたします。まず、検討委員会の調査結果及び協議結果について、事務局より説明をお願いします。

学校教育課指導主事) よろしくお願ひいたします。説明の前に、確認を1点させていただきます。教科書本文のみの審議のため、二次元コードについては参考とさせていただきます。

それでは、種目ごとに説明させていただきます。なお、教科用図書の発行社は略称にて申し上げます。まずは「国語」です。各社共通して、主体的・対話的で深い学びについての工夫がされています。自分で問いや課題を立てて、見通しを持って学習に取り組み、そして最後に振り返るという探究的な学習の流れの構成になっております。

次に、各社の特徴です。東京書籍。教材についてどのようなことを行っていくかが丁寧に示されています。見通し表があり、児童が分かりやすいよう工夫がな

されています。

教育出版。言葉にこだわっており、読み物教材について、言葉について深める構成になっています。

光村図書。読み物ページの学習の流れで、課題発見として問いを持たせる構成や、単元のゴールが記載されており、つくりのバランスに配慮が見られます。

以上3社の中で、採択検討委員会の候補となったものは、第1候補が光村図書、第2候補が東京書籍です。光村図書は3観点で振り返られるようになっている点、分量などのバランスがよい点が評価されております。東京書籍は、読み物教材の導入が丁寧である点が評価されております。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。今の説明についてご質問はございますか。よろしいですか。

説明にもあったとおり、検討委員会では種目1の「国語」については第1候補が光村、第2候補が東書となっていますが、それでは各委員のご意見等をお伺いしたいと思います。いかがでございましょうか。下位委員、お願いします。

下 位 委 員) 私も全て拝見させていただきました。まず光村ですが、4年生上巻の「新聞を作ろう」というものがあつたんですが、こういった所にも学び方が工夫されている教科書だと感じました。学年ごとの学びの見通しという部分ですとか、単元等ですね、ここらあたりが非常にいいんじゃないかなと思っています。中学校への接続も考えられているように見受けました。白色度が高くない紙を使っているように見えただすけれども、目に優しい工夫がなされているんじゃないかなと思います。

東京書籍、QRコードのコンテンツは評価の対象ではありませんけれども、ギガ端末もあるので、各社各教科で一通り確認させていただきました。東京書籍さんは、一部音声が再生されたり、「竹取物語」の音読があつたりすることが非常にいいなと思いました。紙面のレイアウトが、全体的にバランスがあまりよくないなというふうに感じました。

教育出版さん、内容に過不足はないと思うんですけども、ちょっとデザインがごちゃごちゃしていて見にくいかなというふうに思いました。

以上総合しまして、縦書きの文章の教科書は光村さんが一番使いやすと感じており、私は光村さんを推させていただきたいと思います。

教 育 長) ありがとうございます。続いて委員の方、いかがでしょうか。小峰委員、お願いします。

小 峰 委 員) 私も各教科、現行使われている教科書、そのままよければその理由、あるいは他に推したいもう一つの教科書があればその理由というふうに、今後、お話し

させていただきたいと思います。

私は、推したいのは東京書籍です。理由としては、情報関連の教材が大変充実しているなと思いました。特に4年生の中の表す工夫、広告を読み取ろうというところで、見開き2ページの中にどんと広告が2種類出ているんですね。それで、その中の工夫を読んでいく教材です。それから同じ4年生でも理由を吟味して考えを書くという単元もあって、すごく判断力とか表現力とか、今これからの子どもたちに必要なものが強調されている。それからインターネット関連についても、教科書の中によく出てくるという点で、子どもに使わせたり、それから先生方に指導していただいたりしたい内容としての充実がありました。もちろん、今まで使っていました光村図書は、本当に全体的に教材の質が高いということ、例えば1年生の中に出てくる「大きなかぶ」ですが、ほかの2社も「大きなかぶ」は載っているんですけども、東京書籍や教育出版は一般的な児童図書として読まれている福音館の「大きなかぶ」の作者の文章をそのまま載せているのに対して、光村図書は、多分編集されたと思うんですけども、おじいさんが抜けないとおばあさんと呼んできて、おばあさんが手伝っても抜けないと孫と呼んできてというふうになっていくときに、ほかの2社は例えば孫がおばあさんを引っ張って、おばあさんがおじいさんを引っ張って、おじいさんがかぶを引っ張って、うんとこしょ、どっこいしょと抜くわけですけども、光村図書はかぶをおじいさんが引っ張って、おじいさんをおばあさんが引っ張ってというふうになっています。というのは、多分1年生にとって動作がしやすい、そういう表現を取り入れているのかなと思いました。そういう点の工夫など、光村図書の教材の質が高いなと思います。それから6年生に出てくる森絵都さんの「帰り道」という教材文なんかは、子どもがなかなか出会えないような教材文だなというふうに思っていましたので、そういう点では非常に高く評価したいですけども、先ほど申し上げたように、これからの子どもたちに必要な判断力とか表現力を培う教科書として、ここで一回、東京書籍のものを使ってみたらどうかなという思いで、東京書籍を第1候補としたいと思っています。

教 育 長) ありがとうございます。続きまして、いかがでしょうか。清水委員、お願いします。

清 水 委 員) 私は就任し初めての教科書選定ということで、どういう視点で拝見したかと申しますと、子どもを持つ保護者として、それから美術が専門ですので、美術的な視点、レイアウト、そして、重要な内容。それぞれの視点で全社の教科書を読んでまいりました。

国語に関しましては、やはり日本の教育の基本となる学びですので、バランス

よい内容ということが大事であろうということ、その点光村図書の教科書は、長年使われてきているだけあって、丁寧に日本語文化の学びが1年から6年まで通して日本の文化の心とともにしっかり構成されていると見ました。ですので、私としては光村図書を引き続き選ばせていただきたいと思います。

教 育 長) ありがとうございます。最後に鈴木委員、いかがでしょうか。

鈴 木 委 員) 私の採択のポイントは、基本的には前回採択、現在使われているものをベースに、それに大きな問題がないということであれば、基本的にはそれを採用したい。一部変わってくる場所もあるんだろうと思いますけども、この2市1町の調査報告をもとに、前回のものが大きく評価が悪くなければ、基本的にそれを採用したいという考え方ですので、国語については光村と。

教 育 長) ありがとうございます。最後に私のほうからですが、各委員のほうからお話がありましたが、とにかく教科書会社さん、それなりの特徴をお持ちになって編集をされていると思います。そういう中で、やはり葉山町の生徒や子どもたちのことを考えていったときに、非常にバランスがとれているという部分、それから小峰委員のほうからも話がありましたが、編集の独自性とか、その辺のところについて考えていくと、結論から申し上げますと光村でいかせていただければと思っています。

ほかにご意見ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、意見も出尽くしたということでございますので、採択に移りたいと思います。各委員の意見をまとめますと、「国語」の教科書は光村になろうかと思いますが、いかがでございましょうか。

委 員 全 員) 異議なし。

教 育 長) よろしいですか。それでは、ご異議なしと認めます。よって、種目1「国語」につきましては、光村の教科書を採択とさせていただきます。

続いて種目2「書写」についてです。同じく、意見を述べられる場合は簡潔にお願いできればと思います。

まず、検討委員会の調査結果及び協議結果について、事務局より説明をお願いします。

学校教育課指導主事) 続いて「書写」についてご説明させていただきます。

各社共通して、教科書で学んだことを生かせる構成になっております。

次に各社の特徴です。東京書籍。他教科に関わる視点で総合的な学習の時間に生かしてみようという工夫がされています。

教育出版。主体的・対話的で深い学びについて、つかむ、考える、確かめる、振り返る、生かす、広げるという学習の進め方が示されています。

光村図書。毛筆では、墨汁の濃淡など、筆の使い方などが分かりやすく記載されています。

以上3社の中で採択検討委員会の候補となったのは、第1候補が光村図書、第2候補が東京書籍です。光村図書は、現行の国語の教科書で使用しており、児童や教師にとって学習の見通しが持ちやすい教材文が多数あることが評価されました。東京書籍は、探究的に進める工夫があり、学校としても探究的な学習を行っている点より、つながりがあるとの部分が評価されました。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。今の説明について、ご質問ございますか。

説明の中にあつたとおり、種目「書写」につきましては第1候補が光村、第2候補が東書となっていますが、各委員のご意見を伺えればと思います。いかがでございましょう。下位委員、お願いします。

下 位 委 員) 「書写」についてです。光村さん、SDGsと書写の関連は微妙ですが、いつも取り上げておられて、幅広く記載がありました。書写体操ですとか、低学年向けの教科書が充実しているように感じました。フォントが、他社さんはいろいろなフォントを使っているんですけども、光村さんはフォントはいくつか、1つではないんですけども、同じようなフォントを使っているということもよかったのではないかなと思っております。

東京書籍さんは「書写のかぎ」というねらいの表現が非常によかったと思います。

そして教育出版さんは、やはり国語と一緒に、ちょっとごちゃごちゃしているデザインだなと感じました。

以上で、国語の教科書との関連性もございますので、同じ光村を推させていただきたいと思います。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。続いて、いかがでしょうか。小峰委員。

小 峰 委 員) 先ほどの順番で述べさせていただきます。私は先ほど国語の教科書としては東京書籍を推させていただきましたけれども、光村図書ということに決まりましたので、やはり書写は国語の教科書と関連しているほうが使いやすいですし、新出漢字などの出る場面も、そのほうが適切だと思いますので、ここでは私は光村図書にさせていただきます。

教 育 長) ありがとうございます。続いて、いかがでしょう。清水委員、お願いします。

清 水 委 員) 私は、教育出版を書写の教科書として推薦させていただきます。理由としましては、もちろん光村さんの書写は教科書と連動して大変見やすい作りですけども、字を選ぶ、字を書くことはなぜ大切なのかということ子どもに教える際に、実際にこういうことに使えるんだよと具体的に教えるという方法も大変効果的で

はないかと思えます。学びと実践の流れを教えるという意味で、教育出版「レッツ、トライ」というページが有効と感じます。こういうことを書くと、こういうふうにノートで応用できるという事例など、子どもたちがイメージしやすい作りです。このように文字を書くとこう使えるのかと、具体的に学びに連動するのではないかなと思ひ、推薦させていただきます。

教 育 長) ありがとうございます。鈴木委員、いかがでしょうか。

鈴木委員) 私の考え方としては、本来は東書にしようと思っていたんですけども、東書が使い勝手がいいのか悪いのか、調査報告を見ると、東書と光村との評価の差が倍ぐらいあるんですね。これだけあると、やっぱりちょっと光村の方がいいんじゃないかなと思っていますので、光村に。

教 育 長) 分かりました。私のほうからは、各委員からも話が出ましたが、国語との連動性を含めた部分で、光村を推させていただきます。

それでは、ほかにご意見いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、意見も出尽くしたということで、採択に移りたいと思います。各委員の意見をまとめますと、「書写」の教科書は光村ということになると思いますが、いかがでしょうか。

委員全員) 異議なし。

教 育 長) よろしいですか。ご異議なしと認めます。よって、「書写」は光村の教科書を採択いたします。

続きまして、種目3つ目「社会」に移りたいと思います。では、検討委員会の調査結果及び協議結果について、事務局より説明をお願いいたします。

学校教育課指導主事) 「社会」についてご説明をさせていただきます。

各社共通して、巻頭に学習内容が見やすくまとめられています。

次に、各社の特徴としてお伝えいたします。東京書籍。4年の「自然災害から暮らしを守る」では、県や市、地域の取り組みに加え、自助の取り組みについて掲載されています。

教育出版。SDGsとつなげて考えられるよう、SDGsの目標と単元のつながりがまとめられており、発展的な学習、総合的な学習の時間に生かせるよう工夫されています。

日本文教出版。6年の歴史では、巻末に年表がとじ込みになっていて記載されており、近隣の国である中国、朝鮮の出来事を記載しております。

以上3社の中で、採択検討委員会の候補となったものは、第1候補として教育出版、第2候補が東京書籍です。教育出版は神奈川県に関する内容が多い点、4年の「住みよい暮らしをつくる」では、ごみ、水、下水処理の順になっており、

現行の流れと同様であることが評価されております。東京書籍は、6年の歴史におきまして巻末に年表がとじ込み式になっており、それぞれの時代を象徴する建造物の写真があり、時代の特徴をつかみやすい点などが評価されております。以上でございます。

教 育 長) 今の説明についてご質問ございますか。よろしいですか。

検討委員会での説明、今の中では、種目3「社会」については、第1候補が教出、第2候補が東書となっています。

それでは、各委員のご意見を承りたいと思います。いかがでございましょう。下位委員、お願いいたします。

下 位 委 員) 教育出版さんです。つかむ、調べる、まとめるという構成は非常に分かりやすいと感じました。あと、今言われましたが、神奈川県横浜市のしゅまい工場ですとか、「水はどこから」では、神奈川県のダム、浄水場が使われていますので、神奈川県の小学校ではちょっとなじみやすいのかなというふうに感じます。SDGsに関係するページがまとめられていて、分かりやすかったです。見開きのページが工夫されていてわかりやすかったです。

東京書籍さん、こちらもつかむ、調べる、まとめる、情報性があつたんですが、ちょっと分かりにくく感じました。ドラえもんを使っていて、それ自体は好感が持て子どもたちもきっと興味・関心を持つと思うんですが、あまり効果的に使われているには感じられませんでした。あと、写真の彩度がやや高めな印象がありまして、目にあまり優しくないかなというふうに感じております。

日本文教さん、SDGsがこちらに関連づけて効果的に紹介されていました。6年生の日本の年表は非常に分かりやすいと思います。QRコードからのワークシートがあつたんですが、これが本当に必要なのかなというところは一考すべきと思いました。

社会に関しては教育出版を推させていただきたいと思います。

教 育 長) ありがとうございます。ほかにいかがでしょう。小峰委員、どうぞ。

小 峰 委 員) 私も現行で使っている教育出版を推したいと思います。先ほど指導主事の説明にもありましたように、3年生のまちとして横浜市が取り上げられ、4年生でも暮らしの中の水については神奈川県が取り入れられているということは、子どもたちにとって大変身近ですし、実際に例えば横浜にも行ったことがあるだろうし、神奈川県の地図を見てもイメージが湧きやすいという点では、子どもたちの生活に結びつきやすいものだと思います。5年生、6年生になると、先ほどもお話がありましたけど、東京書籍での扱いもいいなと思う点もあるんですけども、下位委員もおっしゃったように、私も構成が少しごちゃごちゃしているかなとい

う印象はありました。おしなべて東京書籍よりも教育出版のほうが使いやすい教科書ではないかなと思っておりますので、教育出版を推したいと思います。

教 育 長) ありがとうございます。続きましていかがでしょう。清水委員、よろしいですか。

清 水 委 員) 私も教育出版を第1候補として推したいというふうに考えました。それはやはりレイアウトが非常に読みやすい、すっきりしているということと、やはり何度も申し上げますが、子どもが何のために学んで、どうして勉強するのかを、小学生のときに認識するのが重要ではないかなと考えます。そうすると、やはり自分たちが住んでいる場所のことについて学んだりすることは、非常に学習意欲を促進すると思いますし、授業でも先生方が事例を出して説明する際に、非常に子どもとの共通理解が促されるのではないかなというふうに考えました。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。鈴木委員、いかがでしょう。

鈴 木 委 員) 今、調査結果ではほぼ拮抗してしまっていて、どうしようかなと思ったんですけども、現在使われているのが教出だということと、先ほど小峰委員や下位委員が、県を取り上げたものが非常に多く出ているということで、葉山町の教育委員としてはそちらのほうを採用すべきじゃないかなと考えていまして、教出さん。

教 育 長) ありがとうございます。私のほうも、社会科の中で地域学習を学んでいく中で、やはり地元の分かりやすいところが出ているというところで、教育出版さんを推させていただきます。

ほかにご意見ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、採択に移りたいと思います。各委員の意見をまとめますと、「社会科」の教科書は教育出版さん、教出さんになろうと思いますが、いかがでしょうか。

委 員 全 員) 異議なし。

教 育 長) ご異議なしと認めます。よって、「社会」は教育出版さん、教出の教科書を採択させていただきます。

続いて種目4「地図」に移ります。それでは、検討委員会の調査結果、協議結果について事務局より説明をお願いします。

学校教育課指導主事) 「地図」について説明させていただきます。

各社共通して、どちらもクイズ形式で記載があり、前半は日本、後半は世界について作られております。世界地図の始まりには地球儀の使い方なども示されております。

次に、各種の特徴としましては、東京書籍。日本の歴史のページの中に世界との関わりの記載があり、世界における日本の立ち位置が世界地図を通して理解し

やすくなっています。

帝国書院。「地図って何だろう」では、実在する地域の航空写真を使って、そこから地図でどのように表していくのかについての説明につながり、地図に興味を持ちやすくしております。

以上2社の中で、採択検討委員会の候補となったものは、第1候補として帝国書院、第2候補として東京書籍です。帝国書院は、地図としての作りにおいて立体感があり、高低差が分かりやすく表現されている点や、児童にとって導入に活用しやすい点が評価されました。東京書籍は「日本の領土とその周り」において、日本固有の領土の全ての島の状況と写真が1ページ見開きであることが評価されました。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。今の説明についてご質問ございますでしょうか。よろしいですか。

検討委員会のほうでは種目「地図」については第1候補が帝国書院、第2候補が東京書籍、東書となっていますが、各委員のご意見を承りたいと思います。いかがでしょうか。下位委員、お願いします。

下 位 委 員) 「地図」です。QRのコンテンツが両方とも非常に充実しておりまして、特にクイズやアニメーションの解説はよかったなと思いました。あと、これはデジタルの恩恵だと思うんですけども、デジタルの地図もございまして、拡大・縮小が簡単にできますので、そこは非常に使いやすんじゃないかなと思いました。

そして、2社とも悪いところは見つけるのが難しいぐらいで、選ぶのが難しいなと思ったのが正直なところなんですけど、帝国書院さんに関しましては、地図を楽しむ工夫がなされていると感じました。「地図マスターへの道」というコンテンツもあり、こちら興味を引きそうです。資料のボリュームが多く、好感が持てました。ページ数が東京書籍に比べてかなり多いと思いますので、地図帳はコンテンツが多ければ多いほどいいと思いますので、そういった意味でも帝国書院はお勧めかなと思っています。

東京書籍さんは、様々な場面で活用できるような工夫がなされていたと思いました。あと、ポップ、ステップ、そしてジャンプというコンテンツがあるんですが、こちら子どもに非常に受けそうだなと思います。あと、日本の自然災害の地図というコンテンツが見やすく、分かりやすく感じました。

結論としましては帝国書院のほうを私は推させていただきたいと思います。

教 育 長) ありがとうございます。続いて、小峰委員、お願いします。

小 峰 委 員) 私も帝国書院の地図を推したいと思います。3年生から使える地図帳として、初めのほうの何ページかに大変丁寧にページを割いて、初めて手にする3年生に

も分かりやすく、地図記号のページも記号が大きくて大変見やすいと思いました。また、地図そのものの色使いが優しくて、地名なども分かりやすいレイアウトになっているなと思いました。

それに対して東京書籍の地図も、内容としては、地図の機能は十分だということ、今、下位委員もおっしゃったとおりですが、地図の色、高低差をつける茶色から緑に、あの色がちょっと濃いので、それからまた地名などを書いてある活字のフォントの違いが見比べてもよく分からなかったんですが、何となく太いので、濃くて見にくいなという感じがしました。でも、先ほど指導主事からあったように、日本の領土全体が見開き1ページに東京書籍は収めてある。あれはとてもいい地図だったので、帝国書院にも欲しい地図だったなというふうに思います。ですけれども、総合して帝国書院の地図帳を推したいと思います。

教 育 長) 続いて清水委員、いかがでしょうか。

清 水 委 員) 私も帝国書院の地図を推薦いたします。両方を見比べて、降水量のグラフなどもどちらも丁寧に、分かりやすく表現されておりまして、その地域の風土ですとか特産物なども上手にまとめられていて、本当に甲乙つけがたいなと思います。子どもたちも地図を見ながら、どこかに行きたいなと、それぞれ思うだろうなと想像しながら見比べて拝見しました。やはり帝国書院デザインがすっきりして見やすいなと感じました。色使い、線の太さの気配りですとか、そういったものが帝国書院さんが比べると若干見やすいのではないかと感じました。

教 育 長) ありがとうございます。鈴木委員、いかがでしょう。

鈴 木 委 員) 調査結果を見ると、ほぼ拮抗しているんですね。東書のほうが若干票数が上がっているということ。現在、帝国さんを使われているので、私も帝国さんでいいのかなと思ったんですけれども、地図を開いても、これは全然教育委員らしくない答弁なんですけど、三浦半島の地図が2か所、両方とも出ておられまして、片方が1か所は葉山町が書かれていて、もう1か所のところが、2か所ほど葉山の名称が出てくるので、さっきの社会じゃないんですけど、どっちでもいい、今現在、前回使っているということもあるんですが、東書のほうがいいな。私は東書でいきたい。

教 育 長) 分かりました。ありがとうございます。

私のほうは、下位委員のほうがおっしゃられたとおりのところに近いですが、やはり資料ですので、非常に資料がたくさん載っているというところが重要だというふうに考えると、やはり子どもが見たときに、字が非常に見やすいのは帝国書院だというふうに考えます。

ほかにご意見ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、採択に移りたいと思います。各委員の意見をまとめますと、「地図」の教科書は帝国書院になろうと思いますが、いかがでございましょう。

委員 全員) 異議なし。

教 育 長) よろしいですか。ご異議なしと認めます。よって、「地図」は帝国書院の教科書を採択させていただければと思います。

続きまして、種目の5つ目、「算数」になります。では、検討委員会の調査結果と、それから協議結果について、事務局より説明をお願いいたします。

学校教育課指導主事) 「算数」についてご説明をさせていただきます。

各社の特徴としましては、東京書籍。思考力、判断力、表現力の育成について、問題の提示と解説が別ページにあり、分かりやすく記載されています。

大日本図書。内容にキャリア教育の視点が入っていたり、他教科との関連が意識されたりしており、「玉手箱」というコーナーで示されています。

学校図書。内容がスモールステップで構成されており、支援面を考えるとよいという意見がございました。いろいろな要素で解説があり、分かりやすく、単元末の補充問題、基礎と発展で別々に記載されており、児童が取り組みやすいという特徴がございます。

教育出版。題材設定が身近なもののため、興味・関心が湧きやすい。問題を解くときにヒントを少なめにしており、授業での解説が行いやすい。

啓林館。練習問題が多く、算数の力をつけるにはよい。プログラミング学習やSDGsがあり、問題解決や社会に目を向ける内容である。

日本文教出版。前の学年の復習問題があり、復習してから授業に取り組むことができる。補充や発展問題として、各単元末に「確かめよう」や巻末に3段階で習熟をはかれる「マイ・トライ」が掲載されています。

以上6社の中で採択検討委員会の候補となったものは、第1候補が学校図書、第2候補が東京書籍です。学校図書は、ヒントが多く、スモールステップで進む点が評価されました。東京書籍は、解説ではアナログ方式になっており、思考しながら取り組むことができるので、考える力がつくと考えられる点、問題設定が子どもの身近な内容であることが評価されました。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。今の説明についてご質問ございますか。よろしいですか。

検討委員会では、種目「算数」については第1候補が学図、第2候補が東書となっています。各委員のご意見、いかがでしょうか。下位委員、お願いします。

下 位 委 員) 拝見させていただきました。まず学校図書さんですが、非常に色味が優しいので、様々な児童に向けて優しいと思いました。中学校に接続する内容というのも、

中学校への架け橋として、別の本になっておりましたけれども、ここで6年生の教科書も一緒にしっちゃったほうがよかったのではないかなとは思いますが、内容としてはいいことじゃないかなと思います。

6年生以下、以外は上・下巻に分かれており、子どもたちの荷物の負担が少ないように思います。前の学年の振り返りや、この本で出てきた言葉など、ほかにも分かりやすい工夫がされていました。

東京書籍さんは、色味がちょっとやはり優しくないんですけれども、アクセントはあるかなと感じました。黒板をイメージした黒地に白文字というのが結構使われているんですけれども、それがちょっと人によっては見にくいんじゃないかなと感じております。判型が縦長にできておまして、タブレットを利用することを考えると、適切なサイズかもしれないですね。巻末の工作のような資料があるんですけれども、こちらは量は少ないんですけれども、学びの助けになるんじゃないかなと思いました。

全体的になんですが、算数の教科書はB5判がなぜか多いんですね。高学年はB5でいいと思うんですけれども、低学年に関してはちょっと字も小さいですし、見にくいんじゃないか。難しいかと思うんですけれども、できれば低学年は大きな教科書、高学年は小さな教科書みたいに大きさが変わるといいんじゃないかなと感じました。

結論としまして、私は学校図書を推させていただきたいと思います。

教 育 長) ありがとうございます。続いて、小峰委員、お願いします。

小 峰 委 員) 私は教育出版を推したいと思います。単元の導入に入るときに、どんな学習が始まるのかなというページがありまして、取りかかりがかなり丁寧で、子どもたちとこれからの学習に取り組めるようになっていくという点が、とてもいいなと思いました。先ほど指導主事のお話の中で、ヒントが少なめということもあったんですけれども、そのほうがこれから子どもたちにいろいろな考えを出させながら、どう進めていくのかという自由度があるように思っています。

先ほど言ったように、導入のところを丁寧にすることによって、子ども自身がどういうふうに道筋を立てて、これから考えを進めていくのかなというところも、自分たちで発見できていくような授業になりやすいなという点で、教育出版を推しました。まとめで使っている4コマ漫画があるんですけれども、あれもなかなか面白い試みだなと思っています。子どもも、あ、こんなふうにしてこの単元で学んだことをまとめられて面白いな、と思えるのではないかなと思いました。

現在使っている学校図書も、1年生が使うブロックをかなり上の学年まで使って割り算をやったりするという点では、子どもたちも何か操作するときにはやり

やすいことかなと思いました。また、さっきと反対に、ヒントも多くて、スモールステップで学習を進めるということでは、算数が苦手な子にとっては使いやすい教科書なのかもしれませんけども、要は先生がどう指導していくかということだと思いますので、先ほど言いましたように、私は教育出版のほうを推したいと思います。

それから、学校図書はまとめが丁寧だということも、先ほどのスモールステップですとか、ヒントが多めということにつながるかなと思いましたけれども、重ねて言いますけれども、やはり教育出版でお願いしたいと思っています。

教 育 長) 清水委員、よろしいですか。

清 水 委 員) 私も小峰委員と同じく、教育出版を推薦したいと考えます。去年、今年と学校視察に伺いまして、現在使っている学校図書をもとに算数を学んでいる小学生を拝見しまして、教科書にヒントが多いというのはよく分かるんですけども、イコール要素が多いために、ちょっと混乱というか、散漫になっているのではないかなという印象を2年にわたって感じました。

東京書籍の教科書も非常にすぐれていて、シンプルに単元の学ぶべきことがまとめられていて良いと感じているんですけども、教科書というのは視覚のものなので、先生の授業と合わせて、両方で簡潔するものですが、教育出版の内容がバランスが良いと思います。表紙のQRコードなども、アクセスするとアニメーションなどが出てきたり、算数は苦手なお子さんと得意なお子さんが分かれやすい教科だと思えるんですけども、苦手なお子さんにも非常に興味を持ってもらう工夫がされているなど考え推薦させていただきます。

教 育 長) ありがとうございます。鈴木委員、いかがでしょうか。

鈴 木 委 員) 現在も学図が使われているわけなんですけれども、研究評価も基本的に断トツに学図が上なので、今使われている学図で。

教 育 長) 私のほうはですね、学校図書さんと、それから教育出版さん、どちらかという教科書の作りというか、発想というのが、両極に近いところがあると感じております。学校図書は、どちらかというところ、本当に何回も出ましたスモールステップ方式で、ヒントがたくさんあって、論理学である算数というものを順番順番にひもといていくという考え方に立っていると。教育出版さんについては、非常にバランスもいいですし、逆に言うとヒントがそれほどたくさんあるわけではないんですけども、逆に言うとも思考力をどう育てるかというところをよく考えられているという部分で、シンプルに作られているというところで、このどちらかというところを考えていきましたが、算数という教科性を考えていきますと、やはり一定のところ算数嫌いという子たちが出てくるのも目に見えておりますので、

これについては教科書はやはり授業の中の基本になりますから、ここを見ながらステップ、ステップで順番に算数ができるようになっていくというのがほかの教科に対しての部分も当然よくなっていくと思いますので、私のほうは学校図書を推させていただきますと考えております。

ほかにご意見ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、採択に移りたいと思います。拮抗いたしました、「算数」の教科書については票数でいきますと学校図書という形になろうかと思いますが、いかがでございましょう。

委員全員) 異議なし。

教育長) よろしいですか。それでは、「算数」につきましては学校図書の教科書を採択させていただきます。

続いて6番目、種目「理科」に移ります。検討委員会の調査結果及び協議結果について、事務局より説明をお願いします。

学校教育課指導主事) 「理科」についてご説明させていただきます。

東京書籍。単元の導入において簡易的な実験や写真、イラストを見開きで掲載するなどした「レッツ・トライ」を設定し、経験や履修内容と関連させ、問題を見つけることを促しており、探究学習を進める工夫がされています。

大日本図書。「〇年生になったら」「中学生になったら」が巻末にあり、次年度の単元や中学校での新しい学び、深まる学びなど、学びの連続性が意識されています。

学校図書。単元の導入において、写真を見開きで掲載し、経験や履修内容と関連させ、問題を見つけることを促しています。また、育成を目指す資質能力が提示されています。

教育出版。巻頭の学習の進め方において、問題解決学習の流れが見える化されているとともに、隣のページにノートのとりが掲載されており、児童が学習の見通しを持ちやすい紙面構成になっています。

啓林館。単元の導入において、ダイナミックな写真が見開きで掲載され、経験や既習内容と関連させ、問題を見つける配慮がなされています。

以上5社の中で採択検討委員会の候補となったものは、第1候補が大日本図書、第2候補が東京書籍です。大日本図書につきましては、単元の導入において写真やイラストを見開きで掲載するなどし、経験や既習内容と関連させ、問題を見つけることを促していること。季節や児童の他教科の学びに配慮した配列や、扱いやすい点が評価されました。東京書籍につきましては、紙面構成が整っている点や、多数の資料、大きな資料が掲載されている点などが評価されました。以上で

す。

教 育 長) ありがとうございます。今の説明についてご質問ございますか。よろしいですか。

検討委員会では、今説明があったとおり、種目「理科」については第1候補が大日本、第2候補が東書となっています。それでは、各委員のご意見を承りたいと思います。下位委員からでよろしいですか。

下 位 委 員) 大日本図書です。生活での活用など理科の重要性を伝える資料が良いと感じました。興味・関心を高める導入が、ところどころで工夫されておりまして、主体的・対話的で深い学びの実現を目指していることが非常によく分かります。興味・関心を高める工夫が随所に見られることが非常に印象的でした。

東京書籍さん。単元の導入部分にある「レッツ・トライ」と「問題をつかもう」というものが興味・関心を高める工夫として効果があると感じております。QRコンテンツとして学校ではできない実験ですとか、なかなか観察できない天体などの動画が充実していました。理科の教科書全般的に、QRのコンテンツが多く入っていますので、どの出版社もうまく活用していると思いました。

結論ですが、私は大日本図書を推させていただきたいと思います。

教 育 長) ありがとうございます。小峰委員、よろしいですか。

小 峰 委 員) 私も大日本図書のものを推したいと思います。どの教科書にも、ちゃんと子どもたちが問題を見つけるとか問題をつかむというところはあるんですが、その次に計画を立てるとというのが、大日本図書はどの単元についてもその場面がありました。ほかの教科書では、生物教材で観察などになると計画を立てるところが抜けてしまいます。みんなで話し合っって問題を作ったところで終わらないで、子ども自身が解決の道筋を立てるところでは、やはり計画を立てることが大変重要だと思います。そういう点で、そこを丁寧に扱っている大日本図書を推したいと思っています。

東京書籍も、単元が始まるページは、子どもの問題を導き出すような言葉かけがあるのは大変好ましいなどは思いましたけれども、先ほど申し上げたような理由で、やはり大日本図書を推したいと思っています。

教 育 長) ありがとうございます。清水委員、いかがでしょうか。

清 水 委 員) 私も現在採択されている大日本図書を推薦させていただきます。各学年において、理科への関心を引く非常に分かりやすくレイアウトされています。

東京書籍さんのものも、今後どういうふうにもう1年間どうだったかという振り返りがあり、非常によくできた教科書で、ほかの教科書も写真ですとか図解ですとか、皆さんそれぞれに工夫して作っているので、本当に選択は難しいなと思いました。

が、授業視察でも拝見した糸電話の音の学びなども、大日本図書は分かりやすくイラストで図解されていて、音を学ぶために身近にあるものを使って学べる点など良いと思います。それぞれの教科書もそういった点はありますけれども、大日本図書を今回推薦させていただきたいと思います。

教 育 長) ありがとうございます。鈴木委員、いかがでしょう。

鈴 木 委 員) 僕もこれを見ると、現在使われているものでいいんじゃないかなと思いますので、大日本図書。

教 育 長) ありがとうございます。私も大日本図書を推薦させていただきます。各教科書さん、創意工夫、様々されているというところがよく分かりました。特に啓林館さんは、写真が非常にいいなという話のところも出ましたけれども、やはり小峰委員がおっしゃったとおり、最終的に理科のところでは計画をどう達成させるかということが重要だと思いますので、そこをしっかりとやっていただいている大日本図書でと思っています。

ほかにご意見いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、採択に移りたいと思います。各委員の意見をまとめますと、「理科」の教科書は大日本ということになるかと思いますが、いかがでしょうか。

委 員 全 員) 異議なし。

教 育 長) ご異議なしと認めます。よって、「理科」は大日本の教科書を採択させていただきます。

続きまして、7番目、種目「生活」に移ります。検討委員会の調査結果と協議結果について、事務局より説明をお願いいたします。

学校教育課指導主事) 「生活」についてご説明をさせていただきます。

各社の特徴としましては、東京書籍。次の学年を見据えた縦方向、教科を超えた横方向への資料や視点が豊富です。

大日本図書。学習の最後に、振り返りとして表情を書く「気持ちマーク」があり、教科書に児童が自分なりに書き込みやすくなっています。

学校図書。単元を4つの段階に分けていて、活動、思考、振り返り、発表と、1つの単元において深まりが見られるような構成になっています。

教育出版。理科の窓、社会の窓の設定があり、中学年以降の学習の興味を持たせるような工夫がされています。

光村図書。ヨシタケシンスケ氏の4コマ漫画の掲載があり、どの視点を持って取り組んでよいのか分かりやすくなっています。

啓林館。単元の中で「わくわく」「いきいき」「ぶんぶん」の3段階、導入、展開、まとめに分けて構成されています。

以上6社の中で、採択検討委員会で候補となったものは、第1候補は光村図書、第2候補は東京書籍です。光村図書につきましては、付録が切り離して子どもが持ち歩きながら見やすい点が評価されました。東京書籍につきましては、黒板の絵が多く示されており、教師や児童が何を学ぶか、どんな力をつけるかが分かりやすい点が評価されました。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。今の説明についてご質問ございますか。よろしいですか。

それでは、各委員のほうからお話を伺いたいと思いますが、検討委員会のほうでは種目「生活」については第1候補が光村、第2候補が東書となっております。では、下位委員のほうからお願いできますか。

下 位 委 員) まずは光村です。特徴的なイラストと4コマ漫画のような構成で、子どもたちの興味について、分かりやすいと感じました。写真が非常に多く、低学年には入りやすいと思います。全体的にビジュアル重視の教科書であるというふうに感じています。低学年向けの教科書について、判型が大きいとの印象でございました。

東京書籍ですが、こちらもビジュアル主体であることは変わりはないんですが、イラストが絵本的な雰囲気で書かれていました。特徴的でした。あと、低学年向けということもありまして、QRコンテンツは少なめでございました。

大日本。東京書籍と打って変わって、QRコンテンツを活用としている、活用しようとしていることが見受けられました。イラストもくせがなく、シンプルで分かりやすいのではないかなと思います。紙面を見れば授業が分かるというコンセプトで作られていると思うんですが、非常に分かりやすいなと感じました。

どの出版社もビジュアル重視できておりますので、低学年向けということもありますので、その点でも一番見やすかった光村を推したいと思います。

教 育 長) ありがとうございます。小峰委員、お願いします。

小 峰 委 員) 私も光村図書を推します。まず、1年生のアサガオ、花の栽培で使う植木鉢ですが、教科書に出てくるものがセットものじゃないという点、細かいことかもしれませんが、そこに光村図書の編集の姿勢が見えてきて、大変好ましいと思いました。どの学校でも、結局はセットものを買わざるを得なくなるんだと思うんですが、先生方、教科書を見たときに、何でセットじゃなきゃいけないのかな。家にあるものを持っておいでというのでもいいんじゃないかなと。ちょっと立ち止まるきっかけになってもらおうと思います。セットもそのまま、支柱があるまま子どもたちに渡すんじゃなくて、子どもたちが支柱が欲しいといったときに出してあげるような、そういう指導の仕方というのも、先生方の中に生まれてくるんじゃないかなという期待を込めて、光村図書です。

それから、ヨシタケシンスケさんの4コマ漫画の中に出てくるメッセージになると思うんです。失敗しても大丈夫というところが、ページのいろいろなところで出てくるのも、大変いい教科書じゃないかなと思いました。

現在使われている教育出版も、観察カードですとか、それから記録カード、それが大変大きく出ていて、参考にはなるなと思いました。また、板書の例も大変多彩で、1年生で難しいかなと思いますけれども、ウェビングマップで書かれている板書も出てきて、先生方も生活科でも板書を大事にする。子どもたちが今、自分たちが何をやろうとしているのかなということを振り返ることもできるので、板書の大切さもそこで示していただけたのは、いい教科書だなと思っていますけれども、今回については光村図書を推したいと思います。

教 育 長) ありがとうございます。清水委員、いかがでしょうか。

清 水 委 員) 私も光村図書に1票をと考えております。特に生活という身近なものを学んでいくのに当たり、低学年の児童に非常に見やすいレイアウトであり、表紙は人気のイラストレーターのヨシタケさんが担当されるなど、親しみやすいと思います。光村図書の教科書で学ぶというのは、とても入りやすいし分かりやすいのではないかと考えました。

教 育 長) ありがとうございます。鈴木委員、いかがでしょう。

鈴 木 委 員) 第1候補も第2候補も、教出さんも、そんな差がないんだよね。絶対教出さんが駄目だという感じは受けないんですね。今現在、教出を使っていますので、僕は教出を推したいと。

教 育 長) ありがとうございます。私のほうは、光村でお願いしたいと思います。学習する内容を思考するためのヒント、振り返りが1ページの中できれいにまとまっているというのは、子どもたちにとって分かりやすいことでもありますので、それらも含め、見ていて楽しい、そういうことというのは光村さんにはあるということを感じました。そんな形です。

ほかにご意見ございますでしょうか。

では、採択に移りたいと思いますが、各委員の意見をまとめますと、「生活」の教科書は光村になろうと思いますが、いかがでございましょうか。

委 員 全 員) 異議なし。

教 育 長) よろしいですか。ご異議なしと認めます。よって、「生活」については光村の教科書を採択させていただければと思います。

続いて種目の8番目、「音楽」に移りたいと思います。検討委員会の調査結果及び協議結果について、事務局より説明をお願いします。

学校教育課指導主事) 続いて「音楽」について説明をさせていただきます。

各社の特徴としましては、教育出版。学習の流れが分かりやすく、3年生以上では学習の進め方コーナーが設定され、学習の目的が示されています。

教育芸術社。それぞれの題材にマークがあり、考える、見つける、歌うなど、どんなことを学習するかが分かりやすいです。

以上2社の中で、採択検討委員会の候補となったものは、第1候補は教育出版、第2候補は教育芸術社です。教育出版につきましては、音楽を表すいろいろな言葉が記載されており、鑑賞して言葉で表すときに、それがヒントになって表現しやすくなり、児童の語彙が増える点などが評価されました。教育芸術社につきましては、5年生の歌唱教材「地球へ」を中心に、各学年にわたってSDGsにつながる視点の教材が提示されている点などが評価されました。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。今の説明についてご質問ございますか。よろしいですか。

種目「音楽」につきましては、第1候補が教出、第2候補が教芸となっております。

それでは、各委員のご意見を承ります。下位委員、いかがでしょうか。

下 位 委 員) 教育出版です。高学年の巻頭にあります日本の音楽家の紹介が導入としていいのではないかなと思いました。学年ごとにあるとじ込みの大きい写真が、曲のイメージに大変効果的でありました。

学習の進め方コーナーというものがございましたが、こちらが非常に分かりやすく、いいと思います。こちらの報告書には二次元コードが掲出され、児童が主体的にアクセスできる豊富な資料があるということなんですが、私が見た限りはあまり資料が充実してないなという感想です。

教育芸術社です。こちらは打って変わってQRコンテンツが非常に充実しておりました。ほとんどの曲を耳で聞くことができるような工夫がございました。あと、学習マップというものがございまして、こちら非常に見やすいなと思っております。

全体的な見やすさを考えますと、教育出版かなと思い、教育出版を推させていただきます。

教 育 長) ありがとうございます。小峰委員、いかがでしょうか。

小 峰 委 員) 私も教育出版を推したいと思います。表紙裏でアーティストの紹介が各学年であるんですけども、多方面の分野の方を、例えばピアニストの辻井さんですとか、狂言の野村萬斎さんなど、子どもの興味を広げる、いい写真が載っているのが大変好ましく思いました。また、鍵盤ハーモニカやリコーダーなどの指導も丁寧に感じます。今、下位委員がおっしゃったように、いろいろな写真についても、

その曲に合ったイメージが上手に掲載されているなどと思いました。

ただ、教芸のいいところは、曲数が多い点、子どもたちが楽しめるかなと思いますけれども、おしなべて教育出版のほうが先生方は指導しやすい教科書ではないかなと思っています。

教 育 長) ありがとうございます。清水委員、いかがでしょう。

清 水 委 員) 教育出版をと考えております。どちらも本当にいい題材を厳選していらして、難しい選択ですが、やはり教育出版は音楽のイメージと絵の連動性が大変スムーズだと思います。

教育芸術社のほう、楽器の説明などは写真も大きく分かりやすいですし、私もブラスバンドにいましたが、実演で学ぶだけでなく、座学で学ぶ際に有用性を感じます。今回は全体的なバランスとして教育出版に1票と考えました。

教 育 長) 鈴木委員、いかがでしょう。

鈴 木 委 員) 2つの評価、ほとんど変わらないという感じだと思います。各委員さんが言われたとおりになんだろうと思うんです。現在、教出さんを使われているので、私は教出さん。

教 育 長) ありがとうございます。私も教育出版のほうを推させていただきます。教芸さんのほうは非常に子どもたちの好きそうな曲がたくさん載っているという話もありましたが、教育出版さんのほうの、特に鑑賞の部分で、体を動かしながら音楽を感じ取るような学習であるとか、それを語彙を増やすような形の部分での学習というものを進められているというところで、音楽、ただ単に楽しむだけではなくて、自分の思いを外に出すというところも非常に重要だと思いますので、そういうところがいいのではないかと思いますので、教育出版を推させていただきます。

それでは、意見もほぼこれでよろしいでしょうかね。

では、採択に移りたいと思います。各委員の意見をまとめますと、「音楽」の教科書は教出さんになろうと思いますが、いかがでございましょう。

委 員 全 員) 異議なし。

教 育 長) よろしいでしょうか。ご異議なしと認めます。よって、種目「音楽」は教育出版さんの教科書を採択させていただきます。

続きまして、9番目「図画工作」に移ります。検討委員会の調査結果及び協議結果について、事務局より説明をお願いいたします。

学校教育課指導主事) 「図画工作」について説明をさせていただきます。

各社の特徴としましては、開隆堂。思考力、表現力、判断力においては学習活動を「ひらめきショートチャレンジ」というコーナーとして設定されています。

全学年、学びの資料の中に、身の回りで使える材料が紹介されています。

日本文教出版。全学年、「図画工作を始めよう」「図工の見方」という見開きカラーページがある。各学年別のテーマに沿った思考力を広げる写真が掲載されています。

以上2社の中で、採択検討委員会の候補となったものは、第1候補が開隆堂、第2候補が日本文教出版です。開隆堂につきましては、吹き出しの色が白地に黒で、文字を読みやすいことが評価されました。日本文教出版につきましては、日本の伝統的作品などの情報量が多い点などが評価されました。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。説明についてご意見、ご質問ございますか。よろしいですか。

では、各委員から意見を承りたいと思います。下位委員、お願いいたします。

下 位 委 員) 開隆堂です。漫画的な構成だったり、吹き出しや擬音などの写真がついていたり、子どもたちが読みやすい工夫となっていると感じました。子どもたちの学ぶ姿や、子どもたちが作った作品の写真が多く掲載されておりましたので、これも子どもたちの意欲をかきたてて、好感がもてます。

あと「小さな美術館」という特集や、身の回りで使える材料という表現が優れていると思います。

日本文教出版ですが、学習の流れが見える工夫はとてもよかったです。低学年は幼児教育との接続が考えられており、小学校の学習に入りやすい仕掛けがありました。

教科書が両方とも今回A4判なんですけれども、図画工作だともうちょっと広さが欲しいかなというふうに感じています。私は開隆堂のほうを推させていただきたいと思います。

教 育 長) ありがとうございます。小峰委員、お願いします。

小 峰 委 員) 私も開隆堂を推したいと思います。活動を促す導入の場面、教科書を開いて、その場面が大変、子どもが活動している場面が大きくて、何を使ってどういうものを作ろうとしているのか、どういう作品にしようとしているのかが大変分かりやすい。図工が苦手な子というのは、やっぱり思いを持とうとか、発想を広げようと言われても、何をどうしていいか分からないからつまずいてしまうことも多いので、分かりやすい活動になっているという点で、開隆堂を推したいと思います。

日文のは、作品として魅力的なものが出来上がるのはよく分かるんですけども、やはり例として出しているのは、小さくて、たくさん出ているので、子どもにとっては活動がどこから始めていいのか、分かりにくいかなという感じもしま

した。そこで開隆堂を推したいと思います。

教 育 長) 清水委員、お願いします。

清 水 委 員) 開隆堂です。ただ、日本文教出版さんは、非常に現代アートを研究されていて、魅力的な題材がたくさん載っておりました。私も現代アートを 20 年以上コーディネートしてきたので、日本文教出版の教科書で子どもたちに指導していたら、日本の美術も大きく裾野が広がるなど感じます。しかし実際の教育現場において、掲載される課題が再現できるかという点、ライトを使ったりフィルムを使ったりというワークショップなどの一例をとっても、非常に難しいだろうなど感じました。私は専門家として現場で子どもたちとアートワークショップをやっています。経験上実際の教育現場で、材料をそろえて、先生が再現するのは非常に難しいと思います。バランスがとれているのは開隆堂さんの教科書の題材と感じましたので、非常に気概を感じる日本文教出版さんのものですが、授業としては開隆堂で進めるのが適していると感じます。

教 育 長) 鈴木委員、いかがでしょうか。

鈴 木 委 員) 私も開隆堂でいいと思います。

教 育 長) ありがとうございます。私も開隆堂ということでお願いします。委員の方々が、たまたま話をされていましたが、開隆堂さん、全体的にほんわかした感じがあってですね、非常に親しみやすいという言い方をされました。確認させていただきますが、そういう感じが非常に強い、子どもたちにとって親しみやすいというところもございますので、開隆堂さんで思っております。

ほかに意見ございますでしょうか。よろしいですか。

各委員の意見をまとめますと、「図画工作」の教科書は開隆堂になろうかと思っておりますが、いかがでございましょうか。

委 員 全 員) 異議なし。

教 育 長) 異議なしと認めます。よって、「図画工作」は開隆堂の教科書を採択します。

続いて、種目 10 番目「家庭」に移りたいと思います。それでは、検討委員会の調査結果及び協議結果について、事務局より説明をお願いします。

学校教育課指導主事) 家庭科についてご説明をさせていただきます。

各社共通して、災害へのトライについては、丁寧に取り扱っております。

次に、各社の特徴としましては、東京書籍。資料の大きさや見やすさ、目に優しい紙面構成であり、玉結び、玉止めについて、2 種類以上の方法の記載があり、児童が選択することができる工夫があります。

開隆堂。中学校で学習する内容を見開きで解説し、中学校へのつながりを意識できるような工夫がされています。

以上2社の中で、採択検討委員会の候補となったものは、第1候補が東京書籍、第2候補が開隆堂です。東京書籍につきましては、アレルギーの児童に対応して、ゆで卵の実習ではなく、ゆでじゃがいもの選択肢が配慮されている点が評価されました。開隆堂につきましては、エシカル商品について取り上げている点などが評価されました。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。ご質問ございますでしょうか。よろしいですか。

種目「家庭」については、第1候補が東書、第2候補が開隆堂となっています。各委員のご意見を承ります。下位委員、お願いいたします。

下 位 委 員) 東京書籍です。3つのステップで問題解決的な学習を進めるということが非常にいいかなと感じました。成長の記録も、振り返りや学びの記録となりまして、児童自身が進度を確認することに活用ができると思います。今、指導主事からもお話ありましたが、卵ではなくてじゃがいもである点も、配慮されています。QRのコンテンツは非常に充実していました。

開隆堂です。こちらも3ステップで進めている工夫がありますが、紙面が分かりにくいかなと感じました。あと、家庭科の教科書としては、少しごちゃごちゃしている、写真があって、文字があって、紙面が窮屈です。ページ数を増やしてもいいと思うので、1ページの内容をもうちょっと減らしたほうがいいんじゃないかなと思います。

ただ、開隆堂さんは、エシカル消費という、葉山町はエシカルを推進しているのでつながる部分もあるのかなと思ったんですが、全体的に見させていただいた結果、東京書籍のほうを推させていただきたいと思います。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。小峰委員、お願いします。

小 峰 委 員) 私は、どちらでもいいという言い方は無責任ですけれども、4年前に家庭科の教科書を検討したときに、東京書籍を推しました。その理由は例えば左利きの子に対する配慮とか、そういうような配慮を要する子への指導に手厚く感じたからです。今回はどちらもそうした配慮がありましたし、そういう点では教科書がいい方向にまとめられてきているなと思いました。私は今回開隆堂を推します。理由は、買い物仕方という中に、買物のトラブルへの対処方法が出ていました。これからの子どもたちは、やはりこういうことに直面するだろうなという点、そういうところに触れたことは大変よかったと思いますし、地域社会での生活にページ数を多く割いているという点でも、開隆堂を評価したいと思いました。

東京書籍でよかったのは、朝食作りを単元として据えていることです。朝食の役割とか、大事さを考える機会になり、生活習慣として位置づけられているのは、貴重だなと思いました。そういうこともありましたけれども、一応私としては開

隆堂を推したいと思っています。

教 育 長) ありがとうございます。清水委員、いかがでしょうか。

清 水 委 員) 私は東京書籍を推薦したいと考えております。どちらもよくできているんですけども、東京書籍は細部にわたってきめ細やかな配慮がされていると感じました。もちろん、じゃがいも一つとってもそうなんですけれども、男女共学の公立中学校への配慮や、アレルギーへの配慮、さまざまに実際的な配慮がされているなど教科書から感じましたので、防災についての表記なども非常に分かりやすいので、東京書籍と思います。

教 育 長) ありがとうございます。鈴木委員、いかがでしょうか。

鈴 木 委 員) 私も東京書籍さんなんですけど、現在使われていますので、開隆堂さんの比較についても、高い評価が出ているので、今現在使われている東書。

教 育 長) 私も東京書籍のほうを推薦させていただきます。やはりアレルギー児童の部分の言及、ゆでじゃがいもみたいな形をあえてとられているものだとか、それから非常に教員にとって使いやすくだらうというところがございますので、東京書籍という形で考えております。

ご意見はほかにございますか。

それでは、採択に移りたいと思います。各委員の意見をまとめますと、「家庭」の教科書は東京書籍になろうかと思いますが、いかがでございましょうか。

委 員 全 員) 異議なし。

教 育 長) ご異議なしと認めます。よって、「家庭」については東京書籍の教科書を採択します。

では、続きまして、種目 11 番目、「保健」に移ります。それでは検討委員会の調査結果と、それから協議結果について、事務局より説明をお願いいたします。

学校教育課指導主事) 「保健」について説明をさせていただきます。

各社の特徴としましては、東京書籍。保健の見方、考え方を働かせながら、身近な生活の中にある課題を見つけ、より健康的で安全な生活を目指すための解決方法を考える構成となっています。

大日本書籍。どの單元においても、学びの最後に「もっと知りたい」というページがあり、その単元の学習を深める内容が記載されています。

大修館。巻頭に「生活の中の保健を探そう」と題して、新聞の切り抜きやインターネットでのニュースなどを紹介し、保健の学習が身近なものであることを伝えています。

文教社。教科書の終わりには「私の生き生き宣言」があり、健康でいられるために自分が大切にしたいことを書く項目があります。

光文書院。巻頭に「保健を学ぶ皆さんへ」と題して、著名人からのメッセージがあり、導入の工夫がされています。

学研。「科学の目」「保健の箱」の項目では、他教科とも関連して学習の内容を深めるような資料等が掲載されています。

以上6社の中で、採択検討委員会の候補となったものは、第1候補は光文書院、第2候補は学研です。光文書院につきましては、特別支援の観点で、文字の大きさやイラストが見やすい点が評価されました。学研につきましては、「資料」というコーナーでは、共生社会の視点で「ともに生きる社会に向けて」という内容が記載されている点が評価されました。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。ご質問ございますでしょうか。

種目「保健」につきましては、第1候補が光文、第2候補が学研となっております。それでは委員のほうからご意見をいただきたいと思います。下位委員、お願いいたします。

下 位 委 員) 光文書院です。子どもたちが興味のあるイメージに対応して、うまく関心を引けるなというふうに感じております。コロナやICTも現代的な話題が多く取り上げられている点も好印象でした。特別支援が必要な児童に配慮している点も評価できると思います。

学研につきましては、單元ごとに学習課題が3つにわかれており、考える、話し合う、解決するという進め方で、分かりやすく思いました。「科学の目」という学習の内容を深めるコンテンツもいいと思います。どちらも、現代的な課題に対応し、流れるような考えるような構成になっておりました。

文教社、イラストと同程度に実際の写真がありました。これは、非常に分かりやすく、いいのかなと感じました。

どこも、それほど大きな差はないかなと思うのですが、私は学研を推させていただきたいと思います。学研がある意味、教科書っぽくない構成であるんですけども、保健体育には適しているかなと感じました。

教 育 長) ありがとうございます。小峰委員、お願いいたします。

小 峰 委 員) 私は光文書院を推したいと思います。情報として、必要なものの写真や絵がはっきりしている。これは光文書院に限ったことではなくて、どの教科書にもつながることかなと思いますけれども、印象としては光文書院について、私はいい感じを持っています。また、特別支援が必要な児童への配慮という点も評価したいと思いますし、最大の理由は「インターネット依存症」という言葉を、この教科書は使っているということ。その辺はほかの教科書にはなかった言葉なので、このところに触れているということは大変評価したいと思います。

下位委員がおっしゃった学研については、各ページのレイアウトが大変見やすく、使いやすい教科書だなというふうには思っておりますが、先ほど申し上げたような理由で、光文書院にしたいと思います。

教 育 長) ありがとうございます。清水委員、いかがでしょうか。

清 水 委 員) 私は学研を候補として1票入りたいと考えております。理由としましては、第1候補の今まで採択されていた光文の教科書も非常によくできています。しかし例えば高学年になると体の成長の思春期のことがより分かりやすく記されていたり、また災害についての事例、それから光文の教科書はイラストが多いような印象だったんですけれども、学研のものは写真や実際にあるポスターなどを的確に使ったレイアウト、資料の工夫が非常にされていて、読みやすいと感じましたので、学研を推したいと思いました。

教 育 長) ありがとうございます。鈴木委員、いかがでしょうか。

鈴 木 委 員) 私は光文で。一番いいなと思ったのは、調査委員会の中で光文館が使いやすいことに対して非常に配慮しているということに対しての点数が高いんですね。それはすごく大事なことだなと思ったのと、現在も光文館を使っているので、私は光文。

教 育 長) ありがとうございます。私は、結論から申し上げますと光文を推させていただきます。委員のほうからも話がありましたが、特別支援が必要な児童・生徒に配慮した内容、構成というのも重要な現代では要素じゃないかなと思っております。色合いも非常にいい感じだと伺っておりますし、そうかなと思っておりますので、拮抗しましたが、私は光文という形で考えております。

それでは、意見等ありましたが、皆さんのほうでいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、採択に移りたいと思っておりますけれども、非常に拮抗したところではございますが、「保健」については光文になろうと思っておりますが、いかがでしょうか。

委 員 全 員) 異議なし。

教 育 長) よろしいですか。それでは、異議なしと認めます。よって「保健」は光文の教科書を採択させていただければと思います。

続いて、12番目、種目「外国語」に移りたいと思っております。検討委員会の調査結果及び協議結果について、事務局より説明をお願いいたします。

学校教育課指導主事) 「外国語」について説明をさせていただきます。

各社の特徴としましては、東京書籍。ピクチャーディクショナリーが別冊として1冊にまとめられています。

開隆堂。実際に外国の方と話したくなるような題材を活用した体験的な活動が多く取り入れられています。

三省堂。言語活動を重ねるごとに使える語句や、表現の増加が実感できるような構成になっています。

教育出版。学校段階間の円滑な接続について、中学校での部活動や授業、行事について知り、中学校でしたいことを発表する学習活動が設定されています。

光村図書。同世代の小学生の映像を見て、外国の文化等に関心を持ち、日本との相違点や共通点について知ることができる活動が設定されています。

啓林館。語句や表現を導入する際に、イラストなどをヒントとして、音声を聞くことで日本語を介さず児童が自らその意味や使い方に気づけるようになっています。

以上6社の中で採択検討委員会の候補となったものは、第1候補は三省堂、第2候補は開隆堂です。三省堂につきましては、ストーリータイムとして、子どもたちが幼少のときからなじみのある物語や、外国のお話を取り入れられている点が評価されました。開隆堂につきましては、各単元にペアワークやグループワークが設定されており、自分のことを英語で伝える活動が積み重ねられている点などが評価されました。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。説明についてご質問はございますか。よろしいですか。

検討委員会では、第1候補が三省堂、第2候補が開隆堂となっています。それでは各委員のご意見を承ります。下位委員、お願いいたします。

下 位 委 員) 三省堂さんです。有名なクラウンという教科書の小学生版であるかと思います。ホップ、ステップ、ジャンプのプロセスが分かりやすく、学習の見える化とゴールの明確化がなされていると感じました。レッツプレイですとか、サウンドチャントといった、楽しげな工夫がございまして、子どもたちの心をつかむのではないかと思います。ほかの教科とのつながりを生かしている点も、評価できると思います。

開隆堂さんです。目当て、ゴールが明示されており、さらにゴールまでの道をちゃんと示してありました。これからの目安にしやすいのではないかなと思います。あと、QRのコンテンツが他社に比べて充実しておりまして、英語という教科の特性を考えると、優位なのかなと思います。

冊数が多いので省略させていただきますが、光村さんは特に紙がよくてですね、鉛筆で書き込みがしやすいということ、裏写りにくいと書いてあって、確認しなかったんですけども、そういったところに工夫を凝らされているのがこちらの教科書かなと思いました。

今後、中学校に接続するための教科書ということにもなりますので、これからは中学校の教科書との関係も考えていく必要があるんじゃないかなと思います。

現時点では三省堂がすぐれていると感じましたので、私は三省堂を推させていただきます。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。小峰委員、いかがでしょうか。

小 峰 委 員) 私も三省堂を推します。ページの構成が大変シンプルで見やすいです。それから、単元の構成が、3ユニットからなっていて、1ユニットの中で関連性が高い単元が並んでいるという点、多分1学期、2学期、3学期という括りでユニットにしているのですが、子どもたちも学習して、1学期にはこういうことをやったな、自分の身近な人との交流の中で、こういうことができたというふうに、自分で身につけたことが分かりやすいユニット形式になっているという点を評価したいと思います。

それから、下位委員もおっしゃった、指導主事もおっしゃったと思いますけれども、物語の教材が大変分かりやすい、自分たちになじみのあるものなので、英語で読んだり聞いたりしても、内容が理解しやすいかなと思いました。

現行の教育出版が悪いということじゃないのですが、私の印象ではどの出版社から出ている教科書も、表紙を見ると何かとてもよく似ている。内容的にも、少しずつ構成は違うんですけども、子どもたちと一緒に活動したいこともよく分かりました。そういう意味でいって、内容がどれがどうということではなくて、先ほど言ったようなページ構成がシンプルで、3ユニットからなっているという三省堂の作り方はいいなと思いましたので、三省堂を推したいと思います。

教 育 長) ありがとうございます。清水委員、いかがでしょう。

清 水 委 員) 東京書籍、開隆堂、三省堂、それぞれもちろん、工夫されている教科書です。英語は小学校で一番新しい教科書です。その中で三省堂さんは辞書から何から、私も語学を学ぶ上で非常になじみがあり、バランスよく語彙ですとか会話が入っているなと感じます。東京書籍も別冊がついていますけれども、その別冊もとても活用しやすいと考えます。その中で私としては開隆堂を1票というふうに考えました。

なぜかといいますと、開隆堂の教科書を見ていると、1つの単元ずつ構成が明確であり、その単元で学んだ英語を使うシチュエーションが想像しやすいです。こういう場合に、英語をこのように使う、そういった使う英語の要素が非常に高いのではないかなと感じました。もちろん文法ですとか単語を学ぶということも基礎として大事ですけども、英語がなぜ日本の小学校で新たに導入されたか、今後の国際社会を生きていく中で必要ということがやはりイメージしやすい、実

際に使えるという面で開隆堂のテキストがすぐれていると判断しました。

教 育 長) ありがとうございます。鈴木委員、いかがでしょう。

鈴 木 委 員) 私はこの基本データ、報告書を見ると、ほとんど拮抗してね、どこかが抜きんでていいとか悪いとかってというのは、あまりなさそうなんですね。現在、教出を使っているの、変える必要がないんじゃないかと思って、私は教出。

教 育 長) ありがとうございます。私は結論から言うと三省堂を推薦したいと思います。委員のほうから話が出ましたが、3ユニットのレッスンの構成であるとか、最初のステップで学んだ語句とかそういうものが、終わった後でしっかりともう一回使うとかいうことで、定着を明確にしていくというところがあったりとか、ストーリータイムの中でなじみのある物語等があるというところで、英語ですので、基本的にはそこにどうなじんでいくかが非常に重要であるというところを考えました。

開隆堂さんと三省堂さんは、どちらかというところ小学生向けで、英語が嫌いにならない系の教科書だと思って、どちらかだろうなと思っています。教育出版さんは非常によく練られているんですが、逆に言いますと少しこうしたレッスンの分量が多のかなという部分がありました。そういう中では、私は三省堂を推させていただきます。

ご意見、ほかにもございますでしょうか。よろしいですかね。

それでは、各委員の意見をまとめますと、「外国語」の教科書は三省堂になるかと思いますが、いかがでございましょうか。

委 員 全 員) 異議なし。

教 育 長) よろしいですか。ご異議なしと認めます。よって、「外国語」は三省堂の教科書を採択とさせていただきます。

それでは、最後の種目になります「特別の教科 道徳」に移ります。検討委員会の調査結果及び協議結果について、事務局より説明をお願いいたします。

学校教育課指導主事) 最後に「特別の教科 道徳」について説明をさせていただきます。

各社の特徴としましては、東京書籍。巻末に考えるためのツールが記録されており、自分の心の中を見つめ表現するための方法が提示されています。

教育出版。小学校中学年から高学年にかけての情報モラルの教材が魅力的です。光村図書。自分ごととして考えたり、問題を解決するために話し合ったりするなど、多面的・多角的に考えられる発問が設定されています。

日本文教出版。巻末の「ここにも道徳」というコーナーが、道徳を身近に感じられる工夫がなされています。

光文書院。1年生からスマホの使い方が記載されており、情報教育に関して起

こり得るトラブルが示されています。

学研。情報活用能力の育成のため、情報モラルに関する教材が全学年設定されています。

以上6社の中で、採択検討委員会の候補となったものは、第1候補は光村図書、第2候補は光文書院です。光村図書につきましては、生命の尊さに力点が置かれ、全学年3つずつ、生命に関する教材が配置されており、児童が命とともに自分を大切にすることを意図した構成が評価されました。光文書院につきましては、巻末に発達段階に応じて授業後の気持ちを表情マークで表現したり、心の矢印で表したりするなど、児童が分かりやすく振り返ることができる工夫などが評価されました。以上です。

教 育 長) ありがとうございます。説明についてご質問ございますか。よろしいですか。

それでは、「特別の教科 道徳」については、第1候補が光村、第2候補が光文となっております。各委員のご意見を頂きたいと思います。下位委員、お願いいたします。

下 位 委 員) 道徳という教科でございますが、人との関わり方や社会での生き方を学ぶ教科です。LGBTQなど社会に出てからも生きてくる教科なのではないかなと思っています。ネットリテラシーですとかSNSでの他人の気持ちの捉え方が出ていますが、現代の児童には重要なテーマではないかなと思います。

まず、光村ですが、4年生、自分と違う考えを大切にすることについて、メッセージングツールを使って説明しているという点では分かりやすいと感じました。ちょっと4年生がメッセージングツールを使っているかどうかは検討の余地はありますが、いいテーマであると思います。自分のよいところを伸ばす单元でもありますが、中学生起業家の小川さんという方を取り上げて、学齢が近い子どもたちに興味や関心がもてるのではないかなと感じました。5年生ではインターネットの特性とマナーについて、6年生では肖像権や著作権について学んでいます。道徳は縦書きの教科書でございますので、やはり光村がいいかなと感じております。

光文書院さん。1年生から6年生まで、全ての学年に情報モラルのページがありました。光文書院さんの情報モラルのページですが、学齢に適した上手な説明となっていました。ページ数は少ないんですが、内容は充実しており、クラウドファンディングに言及しているのも先進的かなと思います。单元ごとに考えさせる文章も質が高く考えられていると思います。

学研さん。目次が見やすく、单元ごとのポイントが分かりやすく述べられていました。情報モラル教育については、一番充実しているんじゃないかなと思いま

す。特に6年生向けのSNSの単元については、非常に分かりやすく感じました。

道徳という教科全体からすれば、情報モラルの単元は一部ではあると思いますが、ギガ端末が配置された現在におきましては、重要性が非常に増しているんじゃないかなと思います。あと、生成AIが間にあわなかったのが残念です。出版社ごとに特徴はありますが、今、私が申し上げた3社が私自体は気に入っておりまして、この中から光文書院さんを推させていただきたいなと思っております。

教 育 長) ありがとうございます。続いて、小峰委員、いかがでしょう。

小 峰 委 員) 先に指導主事から上がった第1候補、第2候補、光村と光文、私もどっちがいいのか大変迷ったところです。ですが、一応光村、今、現行使われている光村図書にしたいと思います。前回の採択からさらに2年前にこの道徳の教科書というのが作られたと思うんですけども、そのときの道徳の教科書って、かなり出版社ごとに特徴がありました。分冊になっていたり、別冊がついていたり、あるいは教材文の後に載っている子どもへの質問がたくさんあって、誘導的になるんじゃないかなと思うようなものもありました。ですけども、この6年間を経て、今、教科書を見ると、どれも子ども自身が考える、先生たちと話し合うというような質問になっているというところは、大変評価したいと思います。

やはり国語のときにも申し上げましたけれども、光村図書の題材というか、教材ですけども、やはり質が高いと思います。私が特に感心したのは、4年生の光村では「ブラッドリーの請求書」という題名がついていたものです。ほかのところでは「お母さんの請求書」で、ほとんど内容は同じです。ほとんどというか、書き方がちょっと違うんですけど、同じ内容です。けれども。ここで説明するのはおかしいですが、「ブラッドリーの請求書」という題名にすることによって、子どもの目線から見たときのその心の動きがとてもよく表現されている題材になっているなと思いました。そういう点でも、編集の工夫があることが分かります。

でも、ただ、先生方がそれぞれの徳目に対して題材を選べるといいなと思うんです。同じように例をあげると6年生で「僕の名前を呼んで」という題材があるんですけど、それも教科書会社によって、ちょっとずつ違います。そのときに、やはり書き方が…そのとき私は東京書籍にある表現がいいなと思ったので、子どもの心にどう訴えたいとか、子どもに何をそこから感じ取らせたいかというときに、一番いい題材を選べたらな、と思います。

そういっても教科書は1つしか選べないので、そういう意味では光村の全体的に、教科書に載せているものについての質の高さから、それを選びたいと思いました。第2候補に残っている光文については、やはり情報モラルというのは、こ

れからとても大事ことなので、それが充実しているということについては捨てるべきか、迷うところでしたけれども、重ねて申し上げますと、やっぱり光村にしたいと思っています。

教 育 長) ありがとうございます。清水委員、いかがでしょう。

清 水 委 員) すごく悩ましいなと思って教科書を確認しました。やはり学校視察に行くと、今、葉山町の児童の皆さん、とても落ち着いて授業を受けているのは、道徳の授業がうまく回っているということも一端であるだろうと思います。現在の光村の教科書の効果も非常に感じます。下位委員がご指摘されたように、情報リテラシーだけが道徳の授業の全てではないと私も思いますが、やはり保護者の一人としても、教育委員としても、非常にその点の使い方ですとか、そういったものは家庭ではもちろんですけども、学校で取り上げていただきたいと思う題材の一つで、それが学研の教科書には各学年で掲載されているというのが非常に私としては、年齢に合った教育ができるという点で評価したいと思います。そのため学研を推させていただきます。

教 育 長) ありがとうございます。鈴木委員、いかがでしょう。

鈴 木 委 員) 私の今までの前提からいけば、光村になるんですね。現在使われているのも光村、評価も光村。これ、棚田を取り上げているんですね、光文さんが。せっかく葉山の棚田を紹介していただいているので、葉山の教育委員としては採用すべきと考えています。なので、私は光文。

教 育 長) ありがとうございます。私も結論から申し上げますと、鈴木委員がおっしゃられたことも含めてですが、光文にさせていただければと思っております。特に、情報モラルというところですが、道徳心ということになりますけれども、ありそうなトラブルというところで、小学校1年生のところからしっかりとそういうものを育成しようという姿勢が見えるところ。それから、当然これ、最終的にはデジタルシチズンシップにつながっていく考え方だと思っておりますし、レジリエンスの考え方もこの中には言及されているというところが非常にいいと思いました。私は、ほかのところが悪いというわけではございませんけれども、光文の物の考え方のところがよいのではないかと考えています。

ほかにご意見ございますでしょうか。よろしいですかね。

それでは、採択に移りたいと思います。各委員の意見をまとめますと、「特別の教科 道徳」の教科書は光文になるかと思いますが、いかがでございましょう。

委 員 全 員) 異議なし。

教 育 長) よろしいですか。ご異議なしと認めます。よって、「特別の教科 道徳」は光

文の教科書を採択させていただきます。

以上、種目 13 全て採択を一旦終わらせていただきますが、事務局のほうでこれまでの審議で採択とした教科用図書を確認させていただきます。事務局のほう、大丈夫でしょうか。

学校教育課指導主事) はい。

教 育 長) それでは確認をお願いいたします。

学校教育課指導主事) では、採択したものを種目別に読み上げさせていただきます。冒頭お話しさせていただきましたように、教科用図書発行社は略称にて申し上げます。

国語、光村図書。書写、光村図書。社会、教育出版。地図、帝国書院。算数、学校図書。理科、大日本。生活、光村図書。音楽、教育出版。図画工作、開隆堂。家庭科、東京書籍。保健、光文書院。外国語、三省堂。特別の教科 道徳、光文書院。以上でございます。

教 育 長) ただいま事務局より 13 種目の教科用図書の確認をしてもらいましたが、間違いございませんか。よろしいですか。

それでは、以上で小学校の使用教科図書について、全ての採択を終了しました。

次に、学校教育法附則第 9 条本について、事務局から説明をお願いいたします。事務局、お願いいたします。

学校教育課指導主事) 小学校から願い出がございましたので、採択の承認を求めます。第 9 条による教科用図書の採択につきましては、小学校教科用図書と同一のものを拡大した小学 3 年生の国語の教科用図書であることを申し添えます。以上でございます。

教 育 長) これより質疑を行います。質疑等ございますでしょうか。よろしいですか。

ご質疑がなければ、これにて終結します。

学校教育法附則第 9 条による教科用図書の採択について、承認することにご異議ありませんか。

委員 全員) 異議なし。

教 育 長) ご異議なしと認めます。

以上をもちまして議案第 11 号令和 6 年度使用小学校教科用図書の採択についてを終了いたします。

それでは、本日の日程は全て終了しましたので、これにて閉会といたします。時刻は 15 時 26 分でございます。